

生産情報

農業振興課 二上 拓哉



○りんごの生態

相馬管内の生育状況は、3月下旬から4月上旬にかけて平年と比べ気温が低く経過したため、発芽日は昨年より4日～10日ほど遅く経過しました。4月中旬以降の気温が平年より5℃ほど高く推移しており、展葉日は1日～3日遅れまで回復しました。今後も気温が高まるため生態は早まるものと考えられます。

りんご作業(5月15日～6月15日)

今後は、摘果作業を迎えます。一回目の摘果作業は、早く、多くの数を摘果するよう心がけましょう。果実の細胞分裂が終わる「落花25日頃」までに摘果を終えるのが理想的です。

摘果作業が遅れそうな場合には薬剤による摘果を行いましょ。摘果剤はミクロテナポン120

0倍で展着剤を加用します。果実に十分にかかるようにし、10aあたり350ℓ以上散布して下さい。散布時期は、ふじ、王林、早生

ふじ、トキでは満開後2週間頃(ふじは横径8～10mmくらい)、紅玉、星の金貨では満開後3週間頃(紅玉では中心果の横径16mmくらい)の一回です。つがる、世界などの早期落果の多い品種やジョナゴールドにかかると落ちすぎる場合がございますので、かからないように気を付けましょ。

	ふじ	王林	つがる
湯口	4/17 (1日遅い)	4/17 (3日遅い)	4/18 (1日早い)
紙漉沢	4/18 (1日遅い)	4/18 (2日遅い)	4/21 (昨年同日)
相馬	4/18 (1日遅い)	4/18 (2日遅い)	4/21 (2日早い)
りんご研	4/17 (2日遅い)	4/16 (2日遅い)	4/18 (1日遅い)

地区別の展葉日(カッコ内は昨年比)

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
4	350ℓ	落花10日後頃	デランF エルサン バイカルティ	1500倍 1000倍 1000倍	リンゴハダニ対策としてバロック2000倍が有効
5	420ℓ	落花20日後頃	ジマンダイセン スプラサイド バイカルティ	600倍 1500倍 1000倍	
6	500ℓ	落花30日後頃	アントラコール ダイアジノン バイカルティ	500倍 1000倍 1000倍	アントラコールは収穫前日数45日なので極早生品種は注意する

りんご病害虫防除暦(第4回目～6回目)

○水稲

水田の一発除草剤は「ウイナー」を使用します。除草剤施用時には5～6cmの深水にし、その後3～4日は水田に水を入れないようにしてください(薬剤の層を壊さないため)。やむを得ず水を入れる場合には、静かに水を入れて下さい。その後の水管理は、平均気温が高い時は浅水にして分けつを促進し、低い時には深水にして低温障害を防ぎましょ。

水が足りなくなった場合は夜間に水を入れ、かけ流しは絶対に避けてください。

◎農作業事故防止に努めましょ

農作業が本格化し、忙しくなりますが、機械作業は焦らず無理をしない運転を心がけましょ。どんなに慣れた作業でも油断はせず事故防止に努めましょ。

今年も高品質でおいしいりんご生産に向けて、産地一丸となって取り組んでいきましょ。

果実販売動向

販売課 米澤 松太



4月の果実動向は、全体に数量減の保合いで推移しました。イチゴについては順調な販売が続きましたが、品質低下が著しく出始めたことから、早期販売の企画が組まれるなど価格は弱含みでの展開となりました。柑橘類については、不知火・清見・甘夏等の国産品が終盤を迎え、輸入オレンジが潤沢な入荷と値頃感から売り場の中心となり、順調に販売されています。メロン・スイカ等については、徐々に増加していますが、価格面や気温の低さ等から荷動きは緩慢な状況が続いています。りんごについては、引き続きサンふじの低位等級品中心に潤沢な入荷となりましたが、3月の出荷が積極的に行われたことにより、在庫が予想以上に少ないことから引き合いは強く、保合いでの推移となりました。ジョナゴールドについては、サンふじとの併売のなか、大玉内容と単価

高から売場は限定的となっており、有袋ふじ、品揃え程度となっています。一方、当JAの輸出については香港向けを中心とした王林は販売終了し、シナノゴールド、サンふじ、ふじについてはスポット販売となっており、年間数量は昨年を上回る実績となっています。今後、いちごや中・晩柑類から、スイカ・メロン・さくらんぼへと徐々に売り場は移行され、スイカについてはGWにかけてピークとなりますが、単価高から引き合いは一定量となる見込みです。輸入品については、キウイが増量を見込んだ積極的な消費宣伝が計画されており、ぶどう、オレンジ等とともに売り場は拡大される見込みです。りんごについては、消費地



これから販売が拡大される見込みのフルーツ

での気温上昇や、品質が弱いことなどから内部裾変が散見されるなど、品質面が懸念されていますが、GWまでは値ごろ価格のあるサンふじが売場の中心となっています。有袋ふじへの切り替えはそれ以降となる見込みですが、価格設定が極端に高いことから、品質懸念が発生すると一気に売場の縮小へとすすむ可能性があることから、品質と在庫を見極めながら売場の維持を図ります。

▶▶▶ 湯口支所からのお知らせ ▶▶▶

湯口支所購買課、機械化センターは、

4月20日～6月23日までの期間中、

土・日・祝も平常営業致します。(午前8時～午後5時)

※金融課は休みとなります。

いきいき女性部通信

農業振興課 女性部 堀井 裕子



4月23日(火)、女性部は当J
A本所大会議室で花の寄せ植え講
習会を開催しました。3年ぶりに
開催した講習会でしたが、14人の
参加者が集まりました。

講師には、「フラワーアレンジ講
習会」でお世話になっている(有)
フラワーガーデンミミの小山内美
喜子代表を講師に迎え、色とりど
りの花に囲まれるなか、華やかに
始められました。

会場にはゼラニウム、ビオラ、
ペチュニアやハーブなど6種類か
用意され、参加者は自分好みの花
を手にとっていました。また、オ
リジナルの寄せ植えを作ろうと、
講師のアドバイスを耳を傾けなが
ら配色などをシミュレーションし

寄せ植えのポイント

- ① プランターに土を2~3cmいれて、その上に花を置く
- ② 花と花の間にスコップで土を足していく

※この際花がグラグラしないように土を押し込むと空気が通らないほか、根まで水分が行き渡らなくなるため、フワッと土を足す。



花を見せ摘花の仕方を教える小山内美喜子代表(右から2人目)

ていました。実際に植え始めると
会場のあちらこちらから「あ
れっ!? これでいいんだっけ!?」
などの声が飛び交い、想像以上に
寄せ植えの難しさを実感している
様子でしたが、終わってみると一
人一人のセンスが光る作品に仕上
がっていました。また、参加者は
お互いの作品を褒め合ったり反省
しながら見比べていました。一喜
一憂しながら楽しい講習会となっ
たことから、今後も継続していき
たいと思いました。

直売所「林檎の森」

直売所 津嶋 育美



直売所ご利用の皆様へ

直売所では新システム導入によ
り花輪ポスターや盛花、もち米な
どの、営農取引が出来なくなりま
したのでご了承下さい。また、貯
金、現金での取引は引き続き可能
ですので是非ご利用ください。

(湯口支所では花輪ポスターの営
農取引が可能です)



色とりどりの旬の花や野菜苗等多く並べられた。

いつも直売所「林檎の森」をご利用
いただきありがとうございます。
毎年恒例の「花と緑の市」が開
催され、天候に恵まれない日もあ
りましたが、たくさんのお客様に
足を運んでいただきました。本当
にありがとうございました。
さて、直売所では相馬産のリン
ゴを使用した新発売「りんごグミ」
を販売しております。甘くて食べ
やすく、小さなお子様から年配の
方まで好評となっております。1
袋100円とお求めやすくなって
おりますので、ぜひご賞味下さい。
また、山菜が出荷される時期を
迎え、たらの芽、ごごみ、竹の子、
こしあぐらなど豊富にご覧いただけます。
天ぷらや和え物などにいかがで
しょうか。
その他、会員が出荷する新鮮野
菜や果物などたくさん取り揃えて
おりますので、ぜひみなさんでお
越しください。
スタッフ一同心よりお待ちしております
おります。